

公明党土浦市議団

2022 年行政視察報告書

視察先	・ 秋田県仙北市 国家戦略特区の取組について ・ 福島県（県庁所在地 福島市） 猪苗代湖の環境保全策について ・ 群馬県沼田市 農林漁業の6次産業化について
視察日	令和4年10月12日（水）～令和4年10月14日（金）
参加者名	吉田千鶴子 平石勝司 目黒英一 3名

視 察 先 秋田県仙北市 仙北市役所田沢湖庁舎

視 察 日 令和4年10月12日（水）13:30～14:30

視察目的 仙北市の国家戦略特区の様々な取組について説明を受け、本市における地域課題解決の参考にする。

視察内容 国家戦略特区についての説明、質疑応答

説 明 者 仙北市議会 副議長 熊谷 一夫 様

仙北市 総務部次長兼企画制作課長 齋藤 洋 様

仙北市 総務部企画政策課課長補佐 高橋 康 様

仙北市 議会事務局 局長 朝水 勝巳 様

仙北市 議会事務局 参事兼課長 高橋 由紀 様

《仙北市について》

仙北市は、平成17年9月20日に、仙北郡角館町、田沢湖町、西木村が合併し発足。秋田県の東部中央に位置し、市のほぼ中央に田沢湖があり、東に秋田駒ヶ岳、北に八幡平、南は仙北平野へと開ける。田沢湖地区は日本で最も深い湖・田沢湖がある。農林業と観光業が盛んで、小規模な縄文遺跡が点在し、北部に位置する玉川温泉の北投石は国指定の特別天然記念物である。角館地区は武家屋敷を中心とした重要伝統的建造物群保存地区があり、「みちのくの小京都」と呼ばれる歴史の町であるとともに、桜の名所である桜木内川堤を擁する。秋田新幹線開業後は更に観光客が増加し、東北有数の観光地となっている。西木町地区は、大きい西明寺栗や八津地区のカタクリの群生があり、自然と歴史の町となっている。

面積：1,093.56 平方キロメートル 人口：23,454 人（2022年10月1日現在）。

《仙北市の課題 深刻な人口減少・少子高齢化》

課題 ・高齢化率 44.2%

・限界集落（高齢化率 50%越え）が存在

・何らかの対策を取らなければ、自治体が消滅する危機

目標 ・若者が魅力を感じるまちづくりを進め早期にUターンさせる事が必要

取組 ・基幹産業である観光・農業に加え、近未来技術を積極的に活用しおた新しい産業を創造する
抜本的な産業構造の改革

《国家戦略特区からのあゆみ》

平成 27 年 8 月 国家戦略特区指定（地方創生近未来特区）
平成 29 年 3 月 仙北市 IoT 推進ラボ選定
平成 30 年 6 月 S D G s 未来都市選定
平成 31 年 2 月 特区推進共同事務局設置
令和元年 5 月 国交省スマートシティモデル事業選定
令和元年 7 月 内閣府近未来技術等社会実装事業選定
令和 3 年 3 月 近未来技術ワンストップセンター設置
令和 3 年 4 月 スーパーシティ区域指定応募
令和 3 年 8 月 スマートシティモデル事業選定

≪国家戦略特区とは≫

「地方創生特区」「近未来技術実証特区」とは？

- ◆区域内における経済的社会的効果、プロジェクトの先進性・革新性および実現可能性があり、特に意欲と実行力のある地方の自治体を指定したもの。
- ◆無人航空機の自動飛行、自動走行、遠隔医療、遠隔教育などの近未来技術実証を積極的に受け入れ、大胆な規制改革を実現する「近未来技術実証特区」を含む。

「特区」で何ができるのか？

- ◆地方自治体または事業の実施主体となる民間事業者等からの申出により、地域経済の活性化やビジネス・雇用の創出のための規制緩和を国が検討。 規制緩和が認められれば、その特別区域内で緩和された規制の下、事業が実施できる。
- ◆規制緩和メニューの活用によって地域経済・産業が活性化し、それらを特区から全国に展開する事で国際競争力を高めていく。

◎特区に指定されただけでは何も起きない

◎地域活性化に資する規制緩和の発案と、実施主体となる民間事業者の存在が不可欠

≪仙北市 地方創生・近未来特区 8メニュー9事業≫

1. 国有林野活用促進事業

貸付面積を 5ha から 10ha に拡大する特例

⇒経営規模の拡大により地域の産業振興を後押し

2. 農業法人経営多角化等促進事業（全国展開済）
農地所有適確化法人設立要件の緩和
⇒企業の農参入が加速 販売加工等の農業の6次産業化の推進
3. 高年齢退職者就業促進事業（全国展開済）
農業等に従事する高齢者を対象に週40時間までの派遣労働を可能にする特例
⇒過疎地域等における労働の確保 高年齢退職者の活躍の機会が拡大
4. 特定実験試験局制度に関する特例事業（全国展開済）
免許申請から発給までの手続きを短縮（原則即日）する特例
⇒小型無人機を活用した実証実験の促進 ベンチャー企業等による製品開発の促進
5. 特定非営利活動法人設立促進事業（全国展開済）
設立認証手続きにおける申請書類の縦覧期間を1ヶ月から2週間に短縮
⇒地域の様々な課題解決に取り組むNPO法人の設立が促進される。
6. 旅行業務取扱管理者確保事業
旅行業務取扱管理者試験の一部科目を研修で免除
⇒農家民宿等の宿泊事業者による旅行商品の企画・提供を促進
7. 旅行業務取扱管理者の要件緩和事業（全国展開済・構造改革特区）
連絡体制の構築により、勤務時間を短縮し他業種との兼任を認める。
⇒経営規模の拡大により地域の産業振興を後押し
8. 近未来技術実証ワンストップセンター
実証実験に必要な手続きに関する相談対応（関係機関への確認を含む）
⇒近未来技術の社会実装による地域課題の解決 新規ビジネスによる雇用の創出

《仙北市近未来技術実証ワンストップセンター》

AI・IoT、自動運転、無人航空機等の近未来技術を活用した実証実験を促進するため、仙北市内において実証実験を実施しようとする者に対して、必要な手続きに関する情報の提供、相談受付、助言、その他支援を行う「仙北市近未来技術実証ワンストップセンター」を設置致しました。
⇒近未来技術の社会実装による地域課題の解決 新規ビジネスによる雇用の創出

◆無人運転バス公道実証実験(レベル4) 平成28年11月13日

運転席が無く運転手がない自動運転バスに人を乗せ、公道で走らせる日本初となる実証実験を実施。通行止めにした県道約400mを時速約10キロメートルで走行。
⇒・道路運送車両法等の法整備 ・全国での自動走行実証実験 に繋がる。

◆ドローンに関する取組（農業）※内閣府地方創生推進交付金事業

- ・スマート農業実証実験① 2019年5月19日～9月25日
⇒育苗ハウス、ほ場センサーの実証実験 ドローン空撮画像の解析による生育調査
ドローンによる肥料（粒剤）散布
- ・スマート農業実証実験② 2020年4月23日～12月18日
⇒ほ場の水位、水温管理の実証実験 ドローンによる除草剤散布 ドローン空撮画像による生育管理

◆ドローンに関する取組（物資配送）

- ⇒・市内の小学校から中学校までドローンで図書を輸送
- ・農家民宿で採れた農産物を直売所まで輸送 ※内閣府地方創生推進交付金事業
- ・ドローンの自動航行により、地元スーパーから集落への食料品を輸送 ※国土交通省スマートシティモデル事業
- ・晴天時と雨天時の飛行性能の比較を行い、天候による影響を測定 ※内閣府地方創生推進交付金事業
- ・水素燃料ドローンの有効性を実証するための実験 ※国土交通省スマートシティモデル事業

◆水素生成パイロットプラントの制作/稼働試験

- ⇒・玉川温泉水（pH.2の強酸性水）と廃アルミニウムの反応により、二酸化炭素排出のない水素生成のための実験装置を製作
- ・開放電圧状態でも7V程度の電圧。消費電流の増加に伴う急激な電圧低下（水素燃料電池としては機能せず 不純物除去が課題と考えられる）

◆防災情報プラットフォームを用いたスマートシティ実証実験

- 都市OSやIoT機器をはじめとした先端テクノロジーを活用した防災情報プラットフォームを導入することで、災害時における、行政職員・市民へのリアルタイムな災害対策関連情報の共有を実施し、安心・安全な地域づくりを行う。
- ⇒・防災情報プラットフォームを導入することで、大規模災害1回あたり39.8時間、降雪期1ヶ月あたり45時間（3ヶ月で135時間）の業務効率化が期待できる。
- ・都市OS部分を中心に政府交付金も活用することで、持続可能な仕組みとすることができる。
- ・今回実証したデータは、市町村の枠組みを超え、広域で活用することでより有効に活用できる。

《防災情報プラットフォームを用いたスマートシティ実証実験》

⇒ ・準備物や自動航行の設定等、運用マニュアルを作成する

- ・全国誰でも防災用ドローンの飛行を行う工程をマニュアル化する
- ・ドローンで取得した画像をオルソ画像化（ひずみを修正した画像）にする
- ・効率的、高精細に実現するためのオーバーラップ率の規格化に向けた検証を行う。
- ・地元の複数ドローンによる撮影→オルソ画像化→防災情報プラットフォームに表示→災害対策本部で活用

《角館オンデマンド交通「よぶのる角館」の運行開始》

- ◆課題 角館エリアの観光スポットは離れた場所に点在しているが、市民バスは中心部を循環するルートがなく本数も限られている。新幹線などで訪れた観光客からは「不便」「駅から武家屋敷までのアクセスが悪い」などの声が上がっていた。
- ◆取組 AIによる配車サービスで目的地へ快適に移動できる TOHOKU MaaS の新しいモビリティサービス「よぶのる角館」を導入。観光客や地域住民に便利なモビリティサービスを提供開始。
- ◆実現 仙北市角館エリアの更なる魅力発信と活性化に向け取り組むことで、観光と住民の暮らしの両方に貢献する地域交通の実現を目指します。
- ◆運行時間 8：30～17：30（予約受付 8：00～17：00）
運賃 1回 300円（おとな・こども均一料金）
運行エリア 【フリー乗降区域】角館駅周辺エリア・武家屋敷エリア等
【フリー乗降区域の外側の乗降場所】「角館温泉 花葉館」「ファーム inn 緑の風」
「農家民宿『庵』」「秋田芸術村」「Semboku Workplex」「温泉ゆぼぼ」「抱返り溪谷」

《仙北市指定ドローン飛行エリア》

誰でも無料で利用できる「仙北市指定ドローン飛行エリア」を設定
(R3年末まで利用者数のべ505人)

- ◆田沢湖飛行エリア（H28.5～）
 - ・田沢湖高原スキー場跡地
 - ・JR 田沢湖駅から車で約 20 分

・ 2km~1km(森林含む。財産区有地)

◆角館飛行エリア (H30.10~)

- ・ 玉川河川公園サッカー場隣
- ・ JR 角館駅から車で約 6 分
- ・ 100m x 100m (県有地)

《主な質疑応答》

Q.仙北市近未来技術実証ワンストップセンターの運営状況は？

A. 仙北市役所田沢湖庁舎で市役所職員が対応している。

企業、大学、研究機関からの相談→ワンストップセンター→関係機関へ情報提供
関係機関からの回答、助言→ワンストップセンター→企業、大学、研究機関へ回答
今まで 17 件の相談があり、実験は 3 件行われた

Q.防災情報プラットフォームの運営状況は？

A.現在も自動航行の設定や運用マニュアルを作成中。国土交通省の職員（工学博士）が主に携わっている。

Q.国家戦略特区について学校の授業での取組は？

A.授業の一環でドローンのプログラミングを取り入れている。今後実験現場の見学も検討している。

Q.国家戦略特区による移住定住促進効果は？

A.数としてのデータはないが効果が期待される取組として・デジタル人材の確保事業・サテライトオフィスの誘致・モビリティサービスの充実・オンラインツアーの実施など。

Q.よぶのる角館の運営状況について

A.JR 東日本秋田支社との共同運営により 5 月 17 日から実装開始した。AI での配車により定時での運行ではない。インターネットで現在地を入力し、AI で時間の予測をして配車している。地元民と観光客の相乗りにより情報交換の効果を期待している。地元のタクシー会社、バス会社に委託しているので地元業者への圧迫はない。

《所感》

【吉田千鶴子議員】

仙北市は、深刻な人口減少・少子高齢化のなか、なんらかの対策をとらなければ、自治体が消滅する危機にある中で、「あらゆる可能性にチャレンジ」を掲げ、国家戦略特区に認定されました。仙北市は、国家戦略特区の「地方創生特区」「近未来技術特区」の特に意欲と実行力のある地方の自治体に指定されました。（10の都県市が認定されている。）「特区」では、規制緩和を国が検討しその特区域内で緩和された規制の下、事業が実施できます。しかしながら特区に指定されただけでは何も起きません。ポイントは、地域活性化に資する規制緩和の発案と、実施主体となる民間事業者の存在が不可欠であることが挙げられています。仙北市の取り組みによりいくつもの事業が全国展開されており特区による規制緩和の撤廃がなされ他市においても恩恵に預かっていることを学びました。また、「近未来技術特区」の農業におけるドローンに関する取り組みでは、ドローンによる除草剤散布（液状）、肥料散布（粒剤）生育状況に応じて施肥量を調整し、生育の均一化を図る。また、ドローンの空撮画像による生育管理も行う。また、角館オンデマンド交通「よぶのる角館」AIによる配車サービスで目的地へ快適に移動できる TOUHOKU MaaS の新しいモビリティサービスを導入。観光客や地域住民に、便利なモビリティサービスを提供。このよう農業分野へのドローンの活用や、AIによる配車サービスは、本市でも参考となると考えます。

【平石勝司議員】

国家戦略特区の概要について、説明を受けたが、特に角館オンデマンド交通「よぶのる角館」の取り組みに興味深くお聞きしました。現在、仙北市では JR 東日本秋田支社と共同で運営している。角館エリアでは、観光スポットが離れた場所に点在し、巡回バスがなく、観光と地域住民の暮らしに貢献することを目的としている。定期運行ではなく、AI による配車サービスのため、利用者が予約すると、ルートを計算し、効率よく運行しているとのこと。利用実績は観光客が6割、住民が4割とのことである。本市においても昨年からのコミュニティバスの実証実験、今年度もおおつ野・沖宿地区 MaaS の実証実験が始まるが、定期運行のため、今後参考にしていきたいと考える。

【目黒英一議員】

自然に恵まれた観光地、人口減少の進んでいる少子高齢化の街が、どうして国家戦略特区になったのか非常に興味がありました。深刻な人口減少・少子高齢化対策に近未来技術を取り入れるという発想が本当に素晴らしいと思います。若者に魅力を感じてもらえるように近未来技術を活用する。また国家戦略特区の認定を受けることにより、近未来技術だけでなく農業や観光業、高齢者の就業など様々な規制が緩和する。できる事はなんでもやってみようという志の高さが功を奏したのだと思います。

ドローンを使った輸送や車の自動運転の実験は高齢者などの交通弱者にも寄り添った内容で、本当に好感が持てます。近未来技術については学校の授業にも取り入れられており、高校生のアプリ開発発表会等も行われました。この発表会には中華系企業も参加しており高校生へのヘッドハンティングが行われたそうです。今回の視察を契機に、仙北市に限らず国家戦略特区の取り組みを今後の議員活動の参考にしていきます。



2022年3月15日
仙北市
JR東日本秋田支社

角館オンデマンド交通「よぶのる角館」の運行を開始します！

仙北市ならびにJR東日本秋田支社は、仙北市角館エリアで角館オンデマンド交通「よぶのる角館」（以下、よぶのる角館）の共同運営を行います。
「よぶのる角館」は、AIによる配車サービスで目的地へ快適に移動できる、TOHOKU MaaSの新しいモビリティサービスです。観光でお越しのお客さまや地域にお住まいの皆さまに、便利なモビリティサービスを提供し、仙北市角館エリアの更なる魅力発信と活性化に向けた取組みを推進します。

1 サービス名称・ロゴ

サービス名称：よぶのる角館

オンデマンド交通が、文字通り、「呼んで」「乗る」乗り物であることをシンプルに表しました。下記のロゴを目印として、オンデマンド車両や宣伝物などに掲出します。



「よぶのる角館」車両イメージ

2 運行事業者

羽後交通株式会社（本社：秋田県横手市前郷二番町4番10号）
角館観光タクシー株式会社（本社：秋田県仙北市角館町横町42番1号）

3 運行期間・運行時間

運行期間：2022年5月17日（火）～2023年3月31日（金）
運行時間：8時30分から17時30分まで（予約受付時間8時から17時まで）
※年末年始や催事開催等に伴い運休する場合があります。

4 運賃

1回 300円（おとな・子ども均一料金）
※Web（スマートフォン専用サイト）上の電子チケットによる事前決済の他、車内でSuica等指定の交通系ICカード又は現金でお支払いいただけます。

実証フィールド提供します

地方が直面する地域課題の解決につながる実証実験の誘致に取り組んでいます

国家戦略特区による規制緩和の検討が可能
近未来技術実証特区認定

挑戦者求む!

秋田県 仙北市役所 総務部 地方創生・総合戦略室
〒014-1298 秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30
TEL 0187-43-3315 FAX 0187-43-1300
Mail sousei@city.semboku.akita.jp
http://www.city.semboku.akita.jp/sousei/index.html

《猪苗代湖の環境保全策について》

視察先 福島県福島市 福島県庁

視察日 令和4年10月13日(木) 13:30~15:00

視察目的 猪苗代湖の環境保全の取組について説明を受け、霞ヶ浦の課題解決の参考にする。

視察内容 猪苗代湖の環境保全についての説明、質疑応答

説明者 福島県 生活環境部 水・大気環境課主幹兼副課長 鈴木 容啓 様

福島県 議会事務局 政務調査課 課長 金澤 泉 様

福島県 議会事務局 政務調査課 主事 伊藤 熙仁 様

《猪苗代湖について》

・猪苗代湖は、福島県のほぼ中心部に位置する日本で4番目に面積が広い湖であり、福島県にとって重要な水資源・観光資源である。

・猪苗代湖の湖水は水道用水、農業用水、発電用水として利用されている。

・猪苗代湖には14の湖水浴場があり、白鳥の飛来地としても知られている。

◆面積 : 103.3 平方キロメートル

◆湖容積 : 3.86 立方キロメートル

◆湖沼標高 : 514 メートル

◆最大深度 : 93.5 メートル

◆滞留時間 : 1,350 日 (~3年8ヶ月)

◆主な流入河川 : 長瀬川、小黒川、高橋川 等

◆流出河川 : 日橋川 (→阿賀川→阿賀野川→日本海)

《猪苗代湖の水質の変化について》

猪苗代湖は、かつて湖水のpHが5.0程度の酸性湖沼でした。しかし平成8年(1996年)頃から湖水のpHが上昇し始めました。減流域からの硫酸イオンの供給や源泉水の性状変化などが原因と考えられています。平成21年(2009年)以降はpH6.8で安定し、ほぼ中性の湖となりました。さらにCOD(科学的酸素要求量)も年々上昇し、大腸菌群数が環境基準値を超過するなど水質の悪化が目立つようになりました。

※CODとは水に含まれている汚れ(主に有機物)の度合いを表すものです。CODの濃度が高いと、水中の酸素を奪ってしまうので、魚が住めなくなってしまう自然浄化作用も止まってしまいます。

《猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境保全施策(県事業)》

(1) 紺碧の猪苗代湖復活プロジェクト事業

- ・目的 水質ランキング1位を目指して、県民、民間団体、事業者及び行政等、あらゆる主体の共通認識の下、水環境保全に取り組む

事業①紺碧の猪苗代湖復活プロジェクト会議

- ・平成24年5月設立
- ・72団体で構成
- ・猪苗代湖クリーンアクション、ヒシ回収事業、漂着水草回収事業、ヨシ刈り事業

事業②みんなで守る水辺環境保全事業

- ・県主催で平成26年度から猪苗代湖北岸部水環境保全区域において、県民ボランティアを募集し、漂着ゴミの回収、ヨシ刈り、水草回収を行っている。

事業③除じんスクリーンの設置

- ・刈草等が猪苗代湖へ流入しないように農業用排水路に除じんスクリーンを設置。
- ・除じんスクリーンは県が購入し、猪苗代湖流域の行政区等に貸出。
- ・平成24年度から令和3年度までに累計477基設置

事業④刈取船によるヒシ除去

- ・令和3年度の実績は7月から8月にかけて（日曜を除く10日間）
ヒシ刈面積が約4.4ha,刈取重量が約101t
- ・平成26年度から令和2年度までの実績は、累計日数56日間、ヒシ刈面積が約30.8ha
刈取重量が340.8t

事例⑤水生植物回収強化事業

- ・回収した水生植物の処理（堆肥化）を行い、持続可能な資源循環の手法の確立を目指す。

(2) 事業者に対する周知・指導

- ・キャンプ場、バンガロー、プレジャーボート施設等に対する立入指導、啓発
(河川法及び自然公園法担当機関と共同で実施)

(3) 水環境に配慮した農業の推進

- ・エコファーマーの認定を通じて、水環境に配慮した農業技術の普及
- ・化学肥料や化学農薬の使用量削減、肥料成分等の流出量の削減、稲わら等の有機物の湖沼等への流出を削減する生産方式の導入促進
- ・水環境に配慮した農業技術の猪苗代湖周辺地域への普及

(4) 環境学習会

- ・猪苗代水環境センターを活用した環境学習会の開催。平成24年度から令和3年度まで累計

1,074 名参加

- ・生活雑排水や田畑からの排水等による河川への水質汚濁に関して、河川の汚濁負荷をどのように低減すべきか、流域住民や周辺農家を対象とした環境共生・モデル事業の実施
- ・ボランティア活動団体の高齢化に伴う活動そのものの継承が課題となっているため、ワークショップを通じて得られた知見を基に、ボランティア活動の運営課題を検討

《猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会》

- ・設 立 平成 12 年 11 月
- ・設立目的 「猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進計画」の目標達成に寄与
- ・会 長 福島県生活環境部長
- ・事務局 水・大気環境課
- ・構成団体 流域の官民 53 団体
- ・事業内容 ①イベント開催（水環境保全フォーラム、フォトコンテスト）
②研修会等開催（環境学習等）
③水環境保全実践活動の実施、支援（県民参加によるボランティア清掃、水環境保全推進員による 21 名による湖岸巡回等）
④水環境保全啓発活動（フォトコンテスト、ホームページの運営、「湖美来通信」発行、チラシ等の作成、配布）
⑤「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来（みずみらい）基金による運営事業
- ・その他
 - ・猪苗代湖等の水環境保全のシンボルとして活用するため、イメージキャラクター（大人の女性：水恋、子ども：湖春 松本零士氏作成）を製作し、平成 22 年公募により愛称を決定
 - ・平成 30 年度に協議会のホームページを全面改修し、スマートフォンでの表示に対応
 - ・SNS（Twitter）を用いて情報発信し、新たな会員の加入促進や広く理解と支援の輪を広げている。

《「きらめく水のふるさと磐梯」湖美来基金》

- ・設 置 平成 14 年 7 月に猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全推進協議会が設置
- ・設置目的 水環境保全に関する活動の情報発信、流域における水環境保全活動の推進を図る
- ・事業内容 ①湖美来クラブ事業
 - ・クラブ員の募集、広報活動、クラブ員への情報提供
 - ・個人会員 360 名、法人会員 50 名（令和 4 年 2 月 28 日現在）

- ・年会費 個人会員 2,000 円 法人会員 10,000 円
- ・湖美来クラブ員募集のポスター・チラシ作成

②水環境保全活動に対する活動経費の助成

- ・流域の水環境保全に関する実践活動等に対し 25 万円を上限として活動経費を助成
- ・令和 3 年度は 21 団体、4 個人に総額 4,536,193 円を助成
- ・平成 26 年度から上限額を 20 万円から 25 万円とした

③募金活動

- ・募金箱の常時設置 (42 箇所)
- ・募金箱の臨時設置、募金のよびかけ

《NPO 法人 輝く猪苗代湖をつくる県民会議》

- ・設 立 平成 27 年 2 月
- ・構成員 27 名
- ・主な活動 猪苗代湖北岸部 (天神浜・松橋浜) の漂着水草回収
- ・令和 3 年度実績 回収量：約 128 立方メートル、延べ参加人数 909 名
- ・平成 27 年～令和
2 年までの実績 回収量：約 1,108 立方メートル、延べ参加数：9,211 名

《猪苗代湖の自然を守る会》

- ・設 立 平成 14 年
- ・構成員 30 名
- ・主な活動 猪苗代湖岸でのヒシ撤去作業
- ・令和 3 年度実績 回収量：約 42 t、延べ参加人数：370 名
- ・平成 24 年～令和
2 年までの実績 回収量：約 216.5 平方メートル (H24～H27)、約 187 t (H28～R 2)
延べ参加人数：3,384 名

《猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境を考える議員連盟》

- ・設 立 平成 24 年 3 月

- ・ 設立目的 情報収集、調査研究、実践活動、政策提言を行い、良好な状態で未来の世代に引き継ぐことを趣旨として設立
- ・ 参加者 県議会議員全員（57名）
- ・ 主な活動 クリーンアクションや水環境フォーラムに参加

《主な質疑応答》

Q.湖水の中性化による影響は？

A.湖水の中性化により微生物が生存しやすい環境になってきた。それに伴い植物由来の大腸菌が増加するようになった。源流域からの硫酸イオンの供給により湖水が中性化になっている。よって流入河川でも大腸菌が多く検出されるようになった。

Q.ボランティア活動の問題点は？

A.ボランティア参加者の高齢化、天候に左右される。近年はコロナの影響での参加者の減少。

Q.清掃活動以外の保全活動の取り組みは？

A.湖美来クラブ事業を通して水環境保全活動に取り組む団体への助成。フォトコンテストの開催。ヒシの実やウチダザリガニなどを使った商品開発

Q.漫画家の松本零士さんに湖美来イメージキャラクターのデザインをお願いしたいきさつは？

A.福島県をPRする「しゃくなげ大使」に選ばれたご縁により依頼させていただきました。

《所感》

【吉田千鶴子議員】

猪苗代湖は、かつて酸性湖沼(pH 5.0)であったが平成8年頃から湖水のpHが上昇し始め、平成21年以降はpH 6.8で安定し、ほぼ中性の湖となってしまったことから、1.「紺碧の猪苗代湖復活プロジェクト事業」が開始された。その目的は、猪苗代湖の水質ランキング1位を目指して、県民、民間団体、事業者及び行政等、あらゆる主体の共通認識の下、水環境保全に取り組む。目的の高さからか、多くの市民、団体等がごみ回収事業等を年間を通して行っていること。また、水環境保全啓発事業として「猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト(猪苗代湖の様々な紹介にその写真が一面を飾っています。)

の開催や個人会員や法人会員の「湖美来(みずみらい)クラブ事業」の実施は、目的を高く持つことの大切さを改めて学びました。霞ヶ浦がおかれている状況とは違いがあると存じますが、目標を高く持って水質改善に取り組むことの重要性を感じました。

【平石勝司議員】

猪苗代湖は酸性の湖沼だったが、平成8年ころから湖水の pH が上昇し、現在では中性の湖になったとのことである。ボランティア団体によるごみ回収などクリーン活動に積極的に取り組んでいる。水質環境保全のシンボルとして、漫画家の松本零士氏に依頼し、イメージキャラクターの策定や福島出身のアーティストやクリエイターなどによって結成されたバンド「猪苗代湖ズ」のライブなど若い世代にも猪苗代湖のことを身近に感じることができるように取り組んでいる。さらに、水質日本一を目指していることがとても印象に残った。霞ヶ浦の水質も改善され、泳げる霞ヶ浦になったが、猪苗代湖のように目標を高く設定し、さらなる水質改善に取り組むことの重要性を感じた。

【目黒英一議員】

小学生の頃、猪苗代湖で泳いだ時に水がきれいだった事を思い出し、霞ヶ浦の環境保全について参考になればとの思いで視察に臨みました。説明を受ける中で一番印象に残ったのがボランティア活動に関わる方、全員が「猪苗代湖をもう一度、水質日本一にしたい」との想いでした。また多くのボランティア団体が存在しており、ゴミ回収だけでなく季節ごとにヒシ刈りや水草の回収なども行っているそうです。猪苗代湖、裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会の活動では様々な活動へ助成を行っておりますが、なかでも「ヒシの実料理勉強会」がとても印象に残りました。水質汚濁の原因の一つであるヒシの実を使っての料理や商品開発は環境保全と町おこしの一石二鳥の取り組みだと思えます。今後このような臨機応変で柔軟な発想も必要であると思いました。



《沼田市における 6 次産業化の取組について》

視 察 先	群馬県沼田市 沼田市役所
視 察 日	令和 4 年 10 月 14 日（金） 14:00～15:30
視察目的	沼田市の 6 次産業化の取組について説明を受け、土浦市の課題解決の参考にする。
視察内容	沼田市の 6 次産業化の取組についての説明、質疑応答
説 明 者	沼田市議会議員 茂木 清七 様
	沼田市議会議員 井上 博 様
	沼田市 経済部 農林課 課長 大竹 光 様
	沼田市 経済部 農林課 農林振興係 主任 森田 ひかり様
	沼田市 経済部 農林課 農林振興係 主事 横坂 萌 様
	沼田市 議会事務局 次長兼庶務係長 田村 悟 様
	沼田市 議会事務局 議事係 主査 倉澤 崇仁 様

《沼田市について》

群馬県の北部に位置し、皇海山・赤城山・武尊山など日本百名山に挙げられる山々に四方を囲まれ、東西に長く、標高は 250 メートルから 2,000 メートル余りに及ぶ起伏に富んだ地形で、総面積 443.46 平方キロメートルの自然豊かな街である。市街地は、市域を南北に貫流する利根川とその支流の片品川・薄根川により形成された日本有数の河岸段丘上に広がっている。

首都圏とのアクセスは、昭和 57 年に上越新幹線が、昭和 60 年に関越自動車道新潟線が開通して飛躍的に向上している。

面積：443.46 平方キロメートル 人口：44,079 人 （2022 年 10 月 1 日現在）

1 次産業の担い手である農業者が、2 次産業、3 次産業までの多様な業種を総合的かつ一体的に展開していく取組が 6 次産業です。農畜産物に新たな付加価値を与え、農業者の所得向上や地域雇用の創出を図る取組として期待されています。

しかし、農業者が 6 次産業化を実践する中で、「商品開発力・販売力強化」「加工及び流通・販売事業者とのネットワークづくり」「資金や人材の確保」などの課題があります。

沼田市の農業の問題である、農家戸数と耕地面積の減少の対策として

「沼田市農産物ブランド化及び 6 次産業化推進協議会」を設立

◆設立 平成 26 年 7 月 29 日

◆目的 市内農産物のブランド化・6 次産業化の推進

◆事業 1.推進協議会事業

- ・協議会会議の開催
- ・視察研修の実施
- ・商品の撮り方セミナーの開催 講師カービングパフォーマーmeica さん

2.ブランド化推進事業

「ぬまたブランド農産物」とは沼田市の恵まれた自然環境の中で育てられた安全で美味しい農産物等を独自基準によりブランド認証化した産物

- ・認証産品 延べ 84 品（延べ 46 事業者）
- ・登録数 67 品（33 事業者）※生産中止・未更新等による認証取消分を除く（R4.4.1 時点）
- ・HP や SNS での情報発信や市内直売所、コンビニ等へポスターやチラシを配布して「ぬまたブランド農産物」の募集を図る
さくらんぼ、トマト、トマトジュース、ブドウ、ワイン、枝豆、日本酒、米、など
- ・令和 3 年度よりぬまたブランド農産物をリニューアル、要綱を一部改正（マークの変更、認証基準の緩和、対象品目の拡大、申請書の簡略化）
- ・認証者紹介 Web ページ「Farmer's Voice」を開設
- ・市内コンビニや直売所等 6 カ所に「ぬまたブランドコーナー」を設置
- ・広報ぬまたへの掲載 クックパッドによるレシピ紹介 ぬまたブランドのプレゼント
- ・伝統野菜「沼須ねぎ」の普及保全活動

3.情報発信販路開拓事業

「沼田ピクニック」とはリンゴ狩りに来たお客様が手ぶらでピクニックができるレンタルサービス

- ・参加農園 市内リンゴ園 8 園
- ・開催期間 9 月上旬～11 月中旬
- ・沼田ピクニック Instagram フォトコンテストの開催

マッチング支援事業

- ・首都圏バイヤーの招へいや個別マッチング支援、商談会を実施

イベントへの参加

- ・無印良品オープニングイベントへの参加

食育ずかん活用推進事業

- ・ 沼田市の農産物を PR するため、沼田市の農産物とその活用方法を食育の観点から豊富なイラストにより紹介している。

沼田市ずかん「沼田の風景画展」の開催

- ・ 市内小中学校に夏休みの課題として風景画を募集
- ・ 作品テーマ
 - ① 果樹狩り
 - ② 玉原高原、玉原スキーパーク
 - ③ 吹割の滝
 - ④ 田畑
 - ⑤ 山・川
 - ⑥ 沼田まつり
 - ⑦ 沼田公園
 - ⑧ 沼田大地
 - ⑨ 迦葉山
 - ⑩ その他風景
- ・ 表彰 入選 30 点以内 賞状と副賞（図書カード）
参加賞として応募者全員に沼田市ずかん冊子をはいふ

協議会ホームページ、公式アカウント SNS の運営・更新

- ・ Facebook、YouTube、Instagram、COOKPAD など

4.商品発掘開発事業

- ・ YouTube や COOKPAD を活用したレシピの開発、提供、公開
- ・ 「沼田フルーツ」(numa) ドライフルーツ、シロップなど加工品のブランド
- ・ 「真田兵糧丸」(市内菓子店と連携して開発)

5. 6次産業化支援事業

- ・ 6次産業化、6次化認証に関する相談・支援を実施
- ・ 6次産業化・地産地消費に基づく計画の申請
- ・ 商品パッケージ等デザインについて
- ・ 「沼田市農産物ブランド化支援事業補助金」を新設

6.新型コロナウイルス感染症対策事業

- ・市内果樹園向けコロナ対策実施ポスター作成、配布
- ・ぬまたマルシェ（沼田市観光協会）への商品掲載案内

《主な質疑応答》

Q.ぬまたブランド農産物の募集状況は？

A. 昨年度は 10 件、今年度は 3 件が申請中

Q. ぬまたブランドコーナーの設置の取り組み状況の詳細は？

A. 店舗オーナーの許可が出た、市内のセブンイレブン、ファミリーマートへ設置
（インターそばの店舗）

Q. 広報ぬまたのプレゼント企画の募集状況は？

A. 毎回の応募は 20～30 件程あります

Q. 個別マッチング支援の成立の結果は？

A. 令和元年 8 件、令和 2 年 3 件、令和 3 年 2 件 成立しました

Q. SNS の情報発信・更新等の運営の詳細は？

A. 農林課 農業振興課係の若手女性職員が担当 イベント等が減少の中で毎日更新している

《所感》

【吉田千鶴子議員】

沼田市は、平成 26 年 7 月 29 日に「沼田市農産物ブランド化及び 6 次産業化推進協議会」を立ち上げ、推進協議会（農業生産者・農業団体・商工団体・販売関係者・女性団体・観光団体・消費者代表・行政）の事業として、「ブランド化推進事業」を立ち上げ、その中で着目したのは①商品の撮り方セミナーとして東京から講師を招聘し行う。商品をおいし見せるコツ等を学ぶ。②HP・SNS での情報発信、③市内直売所・コンビニ等へチラシやポスターを配布。④沼田ブランドコーナーの設置→市内コンビニや直売所等 6カ所に沼田ブランドコーナーを設置。次に「情報発信販路開拓事業」では、①沼田ピクニック、②沼田ピクニック Insutagram フォトコンテスト、③マッチング支援事業→首都圏バイヤーの招聘やマッチング支援、商談会を実施④イベントに参加→無印良品からブランド商品の「お味噌」が選ばれています。こうした点から本市においてもブランド認定からさらなる取り組みとして参考にしていただきたいと思います。尚、沼田市

での説明は若い女性担当者2名で行っていただきました。こうした点も参考になればと考えます。

【平石勝司議員】

沼田市では、平成26年から沼田市農産物ブランド化及び6次産業化推進協議会を立ち上げ、情報発信、商品開発、6次産業化支援を行っている。担当者の方から説明を受け、特に印象に残ったのは、ぬまたブランドコーナーを市内の直売所をはじめ、セブンイレブンやファミリーマートなどのコンビニにも設置していることである。販路開拓にも力を入れており、食のショールーム・パルズとも提携し、バイヤーの招聘やマッチング支援も積極的に行い、さらには、無印良品のイベントにも出店し、ブランド力向上にも努めている。本市においてもブランド認証事業に取り組んでいるが、市内外の方への周知不足やどこで購入できるのかわからないといった声をよく耳にするため、沼田市の取り組みはとても参考になった。本市においてもぜひとも取り入れたいと考える。

【目黒英一議員】

20年以上青果の仕事に携わってきて、沼田市の青果物の品質の高さを認識していたので、どのように6次産業化に取り組んできたのか非常に興味がありました。沼田駅から市役所庁舎に行くまでの高低差にとっても驚きましたが、この地形が質の高い農産物を作る一因なのかと納得致しました。農業のイメージが強かった沼田市でも農家戸数や耕地面積が減少しているのは以外でしたが、農業産出額に大きな変動がないのは効率よく生産性を上げているとの事でした。更にぬまたブランド農産物の認証制度で品質の高い農産物と6次加工品が流通しております。SNSを使って全国にPRするだけでなく、市の広報紙を使って地元沼田市の方にもぬまたブランドを浸透させていく取組は地元愛が高まるだろうと思います。高品質へのこだわりとブランド力は本市でも力を入れるべきだと思いました。



